

**令和7年(2025年)度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定  
大学別 受講可能科目リスト**

関東学院大学

**研究科(専攻):** 文学研究科 博士前期課程 (英語英米文学専攻)

(履修申請受付期間: 2025年 3月 28日 ~ 2025年 4月 4日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
米文学研究Ⅰ-1 (アメリカ詩)	In this course--taught entirely in English-- we explore the poetry of Emily Dickinson. This 19th century reclusive American poet found new forms of poetic expression through the influence of The Bible, Shakespeare and developing modern sciences to become, after her death, one of America's most enduring poets.	アラソ ボ' ヲフォード*	2	春	月	2	研究室	若干名
米文学研究Ⅰ-2 (アメリカ詩)	In this course--taught entirely in English--we explore the poetry of Emily Dickinson. This 19th century reclusive American poet found new forms of poetic expression through the influence of The Bible, Shakespeare and developing modern sciences to become, after her death, one of America's most enduring poets.	アラソ ボ' ヲフォード*	2	秋	月	2	研究室	若干名
英語教育研究Ⅰ-1 (言語心理)	<p><b>【授業のテーマ】</b> 本科目では、総合的な英語コミュニケーション能力を育成する教授・学習法を学んだ上で、英語科の学習活動や教材を調査し、分析する手法を学ぶ。</p> <p><b>【授業の概要】</b> 現代の英語教育では、コミュニケーションを行う意欲の向上が課題となっている。本科目は、受講者が英語教育に携わる人材として、意味ある、理解可能な英語コミュニケーション活動が創造できるようになることを目指す。そこで、国際語またはグローバル言語としての英語の総合的なコミュニケーション能力を育成する英語教育法・学習法を能動的・主体的な学修を通じて学ぶ。特に、本科目では英語コミュニケーション能力の育成を図る教授法及び教材に焦点を当てる。</p>	吉田 広毅	2	春	火	1	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
英語教育研究Ⅰ-2 (言語心理)	<p>【授業のテーマ】 本科目では、総合的な英語コミュニケーション能力を育成する教授・学習法を学んだ上で、英語科の学習活動や教材、テスト、カリキュラムを開発する手法を学ぶ。</p> <p>【授業の概要】 現代の英語教育では、コミュニケーションを行う意欲の向上が課題となっている。本科目は、受講者が英語教育に携わる人材として、意味ある、理解可能な英語コミュニケーション活動が創造できるようになることを目指す。そこで、国際共通語またはグローバル言語としての英語の総合的なコミュニケーション能力を育成する英語科教育法・学習法を能動的・主体的な学修を通じて学ぶ。特に、本科目では英語コミュニケーションの能力の伸長を目指すカリキュラム設計と評価計画の策定に焦点を当てる。</p>	吉田 広毅	2	秋	火	1	研究室	若干名
英語学研究Ⅱ-1 (語用論・認知言語学)	The aim of this course is to explain how English constructions can be analyzed within the framework of Construction Grammar and to provide a general orientation in Cognitive Linguistics, an understanding of its central themes and assumptions, and exposure to its empirical methods. Applications pertaining to Japanese linguistic studies will be emphasized in this course.	草山 学	2	春	火	5	研究室	若干名
英語学研究Ⅱ-2 (語用論・認知言語学)	The aim of this course is to explain how English constructions can be analysed withing the framework of Construction Grammar and to provide a general orientation in Cognitive Linguistics, an understanding of its central themes and assumptions, and exposure to its empirical methods. Applications pertaining to Japanese linguistic studies will be emphasized in this course.	草山 学	2	秋	火	5	研究室	若干名
英語学研究Ⅲ-1 (音声学)	音声分析のための基礎理論	平坂 文男	2	春	水	4	研究室	若干名
英語学研究Ⅲ-2 (音声学)	音声信号の分析技術についての基礎理論	平坂 文男	2	秋	水	4	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
英文学演習Ⅰ-1 (英国小説)	イギリスの文学作品を歴史や文化、思想などの幅広い背景を踏まえたうえで考察していく。テキスト理解に取り組むことで、英文表現の幅広さに対する認識を高め、各学生の研究にも活用できるようにしたい。今年度はシャーロット・ブロンテの『ヴァイレット』を読む。授業は輪読形式で行う。	松村 聡子	2	春	金	3	研究室	若干名
英文学演習Ⅰ-2 (英国小説)		松村 聡子	2	秋	金	3	研究室	若干名
米文学演習Ⅱ-1 (アメリカ小説)	<p>【テーマ】 Henry Jamesの短編研究</p> <p>【概要】 Henry Jamesの初期の国際エピソードが色濃く出た短編"A Passionate Pilgrim" (1871)を精読します。英語で書かれた難解な作品として知られるJamesの短編を一語一句正確に読み解きながら、作品の成立の過程や構成を同時に探究し、作中に登場する様々なモチーフについても細かく見てゆきます。短編を分析するなかで、文芸批評の基礎となるものや、種々の批評理論や哲学思想の作品への応用方法についても身につけてゆきます。授業では、メンバーが分担して該当箇所の精読と自分なりの分析を発表してもらいます。テキストには、スクリブナーのニューヨーク版(The Novels and Tales of Henry James: New York Edition Volume 13, NY: Scribner's, 1937)を使いますが、この作品はニューヨーク版における書き直しが大幅に行われているので、エーデルが編集するRupert Hart-Davis版(The Complete Tales of Henry James Volume 2: 1868-1872, ed. by Leon Edel, London: Rupert Hart-Davis, 1963)も検討に用います。シラバス内のページ番号は、ニューヨーク版に依ります。</p>	入江 識元	2	春	金	6	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
米文学演習Ⅱ-2 (アメリカ小説)	<p>【テーマ】 Henry Jamesの短編研究</p> <p>【概要】 Henry Jamesの芸術をテーマとした短編"The Author of Beltraffio" (1884)を精読します。英語で書かれた難解な作品として知られるJamesの短編を一語一句正確に読み解きながら、作品の成立の過程や構成を同時に探究し、作中に登場する様々なモチーフについても細かく見てゆきます。短編を分析するなかで、文芸批評の基礎となるものや、種々の批評理論や哲学思想の作品への応用方法についても身につけてゆきます。授業では、メンバーが分担して該当箇所の精読と自分なりの分析を発表してもらいます。テキストには、スクリブナーのニューヨーク版 (The Novels and Tales of Henry James: New York Edition Volume 16, NY: Scribner's, 1937) を使いますが、必要に応じて、エーデルが編纂するRupert Hart-Davis版 (The Complete Tales of Henry James Volume 5: 1883-1884, ed. by Leon Edel, London: Rupert Hart-Davis, 1963) も用います。シラバス内のページ番号は、ニューヨーク版に依ります。</p>	入江 識元	2	秋	金	6	研究室	若干名
英語教育演習Ⅰ-1 (言語心理)	<p>【テーマ】 本科目では、教育工学的アプローチに基づき、英語学習の成果の向上および質の改善を図るための教授技法を学ぶ。</p> <p>【授業の概要】 本科目では、グローバル化の進展を踏まえ、国際共通語としての英語によるコミュニケーション能力を教育工学的アプローチに基づき伸長する技法を学ぶ。「教育学」とは、教育に係る操作可能な全ての要因、例えば授業目標、授業内容、教材、教具、指導技術、教育方法、教育環境、教育評価、教師の活動、児童生徒の活動などの関係を分析、選択、構成、制御することで、教育効果が最大とすることを目指す学問である。本科目では特に、英語教育に関わる諸要因のうち、種々の授業設計モデルを扱う。</p>	吉田 広毅	2	春	月	1	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
英語教育演習 I-2 (言語心理)	<p>【授業のテーマ】 本科目では、教育工学的アプローチに基づき、英語学習の成果の測定と評価、そして、教材開発の技法を学ぶ。</p> <p>【授業の概要】 本科目では、グローバル化の進展を踏まえ、国際共通語としての英語によるコミュニケーション能力を教育工学的アプローチに基づき伸長する技法を学ぶ。「教育学」とは、教育に係る操作可能な全ての要因、例えば授業目標、授業内容、教材、教具、指導技術、教育方法、教育環境、教育評価、教師の活動、児童生徒の活動などの関係を分析、選択、構成、制御することで、教育効果が最大とすることを目指す学問である。本科目では特に、英語教育における測定との方法、そしてICTを中心としたメディアの制作と活用方法を扱う。</p>	吉田 広毅	2	秋	月 1		研究室	若干名
英国戯曲特論 I	イギリスでは中世から現代にいたるまで様々なジャンルの演劇が栄えてきた。中でも英国ルネサンスという時代に栄えた演劇文化を支えたシェイクスピアの功績は大きい。この授業では、シェイクスピアの作品と類似のテーマを扱った他の劇作家の作品を読み、それぞれの作品から読み取れる文化的背景や人物造形の特徴について考える。また必要に応じて映像資料を用いて、理解の助けとする。	福圓 容子	2	春	月 2		研究室	若干名
英国戯曲特論 II	イギリスでは中世から現代にいたるまで様々なジャンルの演劇が栄えてきた。中でも英国ルネサンスという時代に栄えた演劇文化を支えたシェイクスピアの功績は大きい。この授業では、シェイクスピアの作品と類似のテーマを扱った他の劇作家の作品を読み、それぞれの作品から読み取れる文化的背景や人物造形の特徴について考える。また必要に応じて映像資料を用いて、理解の助けとする。	福圓 容子	2	秋	月 2		研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
英米批評文学特論 I	この授業では文学・文化テキストを分析にする上で不可欠な批評理論について学んでいきます。精神分析批評、構造主義批評、ポスト構造主義批評、フェミニズム批評、マルクス主義批評、新批評、読者反応論など代表的な批評理論の概説やキーワードを学びながら、各理論で『ザ・グレート・ギャツビー』を読解した英文を読み、実践的な分析方法を身につけていきます。英文の講読とディスカッションを通じて、批評理論をより深く理解できるようにすることが大きな目標です。	児玉 晃二	2	春	月	4	研究室	若干名
英語圏文化特論 I	本講義は、アメリカ文化に関連する論文の精読を通して現代アメリカ社会が抱える課題の根底にある思想を探ることが目的である。複雑に絡み合うアメリカの人種、ジェンダー、宗教、階級、地域性という観点を中心に、一次資料や論文の精読を通してアメリカの歴史と文化を考察し、アメリカ社会における諸問題を見つけ出し、先行研究や関連する資料を把握した上で自分の考えを構築することが目標である。 研究論文以外にも、文書、オーラル・ヒストリー、写真、映像などの多様な資料に触れ、それらを収集・読解・分析・評価し、論理的に論じる方法を習得する。 学生主体で授業を進め、毎週あらかじめ指示されたテキストを予習として精読し準備するほか、各テーマにおける主題や問題点、疑問点に関するミニレポートを作成し、それをもとにディスカッションを行う。	村岡 美奈	2	春	木	3	研究室	若干名
英語圏文化特論 II	本講義においては、オセアニア地域、殊にハワイを主たる対象とする民族誌を精読し、文化人類学における基礎的理論の再考および批判的検討を行います。併せて、近年の事例を踏まえつつ、現代人類学において中核的論点とされる先住民運動、ポスト・コロニアリズム、セトラールコロニアル、およびエスニック・マイノリティをめぐる社会的・政治的諸相について理解を深めます。	四條 真也	2	秋	木	3	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
イギリス小説特論Ⅰ	ジェイン・オースティンの作品を題材としてイギリス文学に親しみ、作品の歴史や文化的な背景を理解しつつ読解することで、英語力を高めつつイギリス文学の研究に対する基本的な理解を培う。授業は輪読形式を基本として行う。受講生の積極的な参加が強く求められる。	松村 聡子	2	春	金	4	研究室	若干名
イギリス小説特論Ⅱ	ブラム・ストーカー (Bram Stoker) の小説について、その歴史的・文化的・文学的コンテキストを踏まえて考察する。2024年度秋学期は『ドラキュラ』(Dracula) をテキストとして、ヴィクトリアニズムからモダニズムへの転換期におけるイギリスの文化と社会について考える。授業は精読及び速読を交えディスカッションをしながら進める。	萩原 美津	2	春	月	2	研究室	若干名
アメリカ小説特論	【テーマ】 Henry Jamesの短編を通して、批評理論を応用する方法を学びます。 【概要】 Henry Jamesの芸術をテーマとした短編 "The Altar of the Dead" (1895)を精読します。英語で書かれた難解な作品として知られるJamesの短編を一語一句正確に読み解きながら、作品の成立の過程や構成を同時に探究し、作中に登場する様々なモチーフについても細かく見てゆきます。短編を分析するなかで、文芸批評の基礎となるものや、種々の批評理論や哲学思想の作品への応用方法についても身につけてゆきます。テキストには、スクリブナーのニューヨーク版 (The Novels and Tales of Henry James: New York Edition Volume 17, NY: Scribner's, 1937) を使いますが、必要に応じて、エーデルが編纂するRupert Hart-Davis版 (The Complete Tales of Henry James Volume 9: 1892-1898, ed. by Leon Edel, London: Rupert Hart-Davis, 1964) も用います。シラバス内のページ番号は、ニューヨーク版に依ります。	入江 識元	2	春	木	3	研究室	若干名
言語文化論	We will explore relationships between language and culture from the perspective of translation.	デビッド・ヒース	2	春	火	2	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
社会言語学	<p>【授業のテーマ】 本科目では、社会言語学の知識を深め、事例研究など行って、理解を深める。</p> <p>【授業の概要】 この科目では、社会言語学の基礎知識を学んだ上で、事例検討や応用ができるようケーススタディや事例検討を行う。</p>	角田 麻里	2	秋	金	3	研究室	若干名
第二言語習得論	<p>[Theme of the class] In this course, students learn how to teach and learn English, and then study methods to analyze learning activities and teaching materials for English classroom lessons.</p> <p>[Overview of the class] The promotion of students' willingness to communicate has become a big issue in the field of English education. The aim of this course is to enable students to develop meaningful and understandable English communication activities as an English teacher. Therefore, students learn English education and learning methods through active and independent learning methods in order to foster primary and secondary students' comprehensive communication skills in English as a lingua franca. In particular, this course focuses on teaching methods and teaching materials that develop learners' English communication competencies.</p>	ジエイソノパイロ	2	秋	金	2	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
英語意味論特論	本講義では、意味論の中でも特に認知意味論における基本的な問題を扱う。認知意味論とは、認知言語学の観点から意味を研究する分野であり、言語の意味は我々の世界に対する知覚と概念化の相互作用（インターフェイス）によって生み出されるとする立場をとる。それぞれの講義では、「身体化された認知」「カテゴリー化」「メタファー」「事態把握と構文知識」など認知意味論における基本的なテーマについて、関連する日本語と英語の現象に着目しながら理解を深めていく。本講義では、近年関心が高まりつつある認知意味論的知見を応用した英語教育の可能性についても議論を広げていき、英語という言葉の本質を探究する研究者だけでなく、英語を外国語として教えることに関心のある英語教育のスペシャリストを目指す人にも対応したテーマを提供する。	草山 学	2	秋	火	2	研究室	若干名
English Communication	This course we will be looking at the linguistic subfield of "pragmatics". This English content-based course will consider factors such as speaker intent, social norms, shared knowledge, and the situation in which communication occurs to deepen student understanding. By learning more about speech act theory, students will appreciate how to understand and include aspects such as indirect speech, metaphors, sarcasm, banter into natural conversation. It will enable students to understand more about the mentality or others from English speaking countries - especially in the realms of negotiation and face threatening acts. Through analysis of short film clips as well as lectures, the course will build a solid foundation in pragmatics.	ジェイソン・パイプ	2	春	金	2	研究室	若干名

## 特記事項

・本学の履修生がいない場合は講義が開講されません。また、授業開講曜日・講時が変更になる場合があります。

**令和7年(2025年)度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定  
大学別 受講可能科目リスト**

関東学院大学

**研究科(専攻):** 文学研究科 博士後期課程 (英語英米文学専攻)

(履修申請受付期間: 2025年 3月 28日 ~ 2025年 4月 4日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
英米文学特殊研究 I-1 (英国小説)	イギリスの文学作品を、歴史や文化、思想などの幅広い背景を踏まえたうえで考察していく。また、テキスト理解に取り組むことで、英文表現の幅広さについての認識を高める。具体的な作品を読みこむことで、文学作品の分析方法についての見識を深めていく。授業は輪読形式を基本として行う。今年度はジェイン・オースティンの『マンスフィールド・パーク』を読む。授業の進度は学生の様子を見て変えることもありうる。	松村 聡子	2	春	木	6	研究室	若干名
英米文学特殊研究 I-2 (英国小説)	イギリスの文学作品を、歴史や文化、思想などの幅広い背景を踏まえたうえで考察していく。また、テキスト理解に取り組むことで、英文表現の幅広さについての認識を高める。具体的な作品を読みこむことで、文学作品の分析方法についての見識を深めていく。授業は輪読形式を基本として行う。今年度はジェイン・オースティンの『マンスフィールド・パーク』を読む。授業の進度は学生の様子を見て変えることもありうる。	松村 聡子	2	秋	木	6	研究室	若干名
英米文学特殊研究IV-1 (アメリカ小説)	【テーマ】 Henry Jamesの短編研究 【概要】 Henry Jamesの短編"The Pupil" (1891)を精読します。英語で書かれた難解な作品として知られるJamesの短編を一語一句正確に読み解きながら、作品の成立の過程や構成を同時に探究し、作中に登場する様々なモチーフについても細かく見てゆきます。短編を分析するなかで、文芸批評の基礎となるものや、種々の批評理論や哲学思想の作品への応用方法についても身につけてゆきます。授業では、メンバーが分担して該当箇所の精読と自分なりの分析を発表してもらいます。テキストには、スクリブナーのニューヨーク版(The Novels and Tales of Henry James: New York Edition Volume II, NY: Scribner's, 1936)を用います。シラバス内のページ番号もこの版に依ります。	入江 識元	2	春	木	6	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
英米文学特殊研究Ⅳ-2 (アメリカ小説)	<p>【テーマ】 Henry Jamesの短編研究</p> <p>【概要】 Henry Jamesの短編"The Diary of a Man of Fifty" (1879)を精読します。英語で書かれた難解な作品として知られるJamesの短編を一語一句正確に読み解きながら、作品の成立の過程や構成を同時に探究し、作中に登場する様々なモチーフについても細かく見てゆきます。短編を分析するなかで、文芸批評の基礎となるものや、種々の批評理論や哲学思想の作品への応用方法についても身につけてゆきます。授業では、メンバーが分担して該当箇所の精読と自分なりの分析を発表してもらいます。テキストには、エーデルが編集するRupert Hart-Davis版(The Complete Tales of Henry James Volume 4: 1876-1882, ed. by Leon Edel, London: Rupert Hart-Davis, 1962)を用います。シラバス内のページ番号は、この版に依ります。</p>	入江 識元	2	秋	木	6	研究室	若干名
英語学特殊研究Ⅱ-1 (音声学)	音声の音響分析のための技術及び知識の習得	平坂 文男	2	春	水	6	研究室	若干名
英語学特殊研究Ⅱ-2 (音声学)		平坂 文男	2	秋	水	6	研究室	若干名
英語学特殊研究Ⅲ-1 (英語学・英語教育)	<p>[Theme of the class] This course provides an introduction to apply second language acquisition (SLA) research to second language (L2) learning and teaching.</p> <p>[Overview of the class] The aim of the course is to provide students with a deep understanding of SLA research, and opportunities to look back on their L2 learning and teaching. The course consists of a combination of discussions, lectures, exercises, and project work.</p>	吉田 広毅	2	春	木	6	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
英語学特殊研究Ⅲ-2 (英語学・英語教育)	<p>[Theme of the class] This course provides an introduction to apply second language acquisition (SLA) research to second language (L2) learning and teaching.</p> <p>[Overview of the class] The aim of the course is to provide students with a deep understanding of SLA research, and opportunities to look back on their L2 learning and teaching. The course consists of a combination of discussions, lectures, exercises, and project work.</p>	吉田 広毅	2	秋	木	6	研究室	若干名
英米文学特殊講義Ⅲ-1 (19世紀アメリカ詩)	<p>In this course--taught entirely in English-- we do close readings of poems from Walt Whitman's Leaves of Grass, one of the central texts of modern American poetry. Readings will include both original works and secondary sources, such as biographical and critical responses to America's most influential poet.</p>	アラン ホ ヲ フォート	2	春	月	1	研究室	若干名
英米文学特殊講義Ⅲ-2 (19世紀アメリカ詩)	<p>In this course--taught entirely in English-- we do close readings of poems from Walt Whitman's Leaves of Grass, one of the central texts of modern American poetry. Readings will include both original works and secondary sources, such as biographical and critical responses to America's most influential poet.</p>	アラン ホ ヲ フォート	2	秋	月	1	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
英語学特殊講義Ⅱ-1 (英語学・英語教育)	<p>[Theme of the class] This course provides an introduction to second language acquisition (SLA) theories and trends in SLA research.</p> <p>[Overview of the class] The aim of the course is to promote students' deep understanding of SLA research, and opportunities to develop well-designed research. The course consists of a combination of discussions, lectures, exercises, and project work.</p>	吉田 広毅	2	春	金	6	研究室	若干名
英語学特殊講義Ⅱ-2 (英語学・英語教育)	<p>[Theme of the class] This course provides an introduction to second language acquisition (SLA) theories and trends in SLA research.</p> <p>[Overview of the class] The aim of the course is to promote students' deep understanding of SLA research, and opportunities to develop well-designed research. The course consists of a combination of discussions, lectures, exercises, and project work.</p>	吉田 広毅	2	秋	金	6	研究室	若干名
英語学特殊講義Ⅲ-1 (語用論・認知言語学)	<p>This course focuses on some problems of cognitive semantics and pragmatics. Cognitive semantics can be defined as the study of the relationship between cognition and language, and pragmatics as the study of how utterances have meanings in situations. The cognitive semantics part selects topics from event construal and construction grammar. The pragmatics part deals with some of the basic topics in pragmatics such as the domain of pragmatics, conversational implicature, conventional implicature and speech acts. This course is also concerned with some linguistic differences between Japanese and English, and students are required to have some grammatical knowledge, not only of English, but also of Japanese.</p>	草山 学	2	春	木	6	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
英語学特殊講義Ⅲ-2 (語用論・認知言語学)	This course focuses on some topics in cognitive semantics and pragmatics. Cognitive semantics takes the relationship between meaning and cognition as its central concern. Pragmatics is the study of how utterances have meanings in situations. This course is especially concerned with how semantics and pragmatics are related to produce linguistic meaning and how linguistic differences in Japanese and English come about. Students are therefore required to have some basic grammatical knowledge, not only of English, but also of Japanese.	草山 学	2	秋	木	6	研究室	若干名

## 特記事項

・本学の履修生がない場合は講義が開講されません。また、授業開講曜日・講時が変更になる場合があります。


**令和7年(2025年)度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定  
大学別 受講可能科目リスト**

関東学院大学

**研究科(専攻):** 文学研究科 博士前期課程 (社会学専攻)

(履修申請受付期間: 2025年 3月 28日 ~ 2025年 4月 4日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
社会学研究Ⅱ-1 (教育社会学)	教育社会学分野の学術書を講読する。指定する文献を全員で読み、受講生の中から毎回担当者を決め、要約して発表する。発表を受けて全員でディスカッションを行う。文献は前もって指定するが、受講生の興味関心に応じて相談しながら決める。	藤根 雅之	2	春	木	5	研究室	若干名
社会学研究Ⅱ-2 (教育社会学)	社会学研究Ⅱ-2(教育社会学)に引き続き、教育社会学分野の学術書を講読する。指定する文献を全員で読み、受講生の中から毎回担当者を決め、要約して発表する。発表を受けて全員でディスカッションを行う。文献は前もって指定するが、受講生の興味関心に応じて相談しながら決める。	藤根 雅之	2	秋	木	5	研究室	若干名
社会学研究Ⅲ-1 (国際社会学)	国際社会学は、国家を超える／国境を越える社会現象を検討する社会学の一領域である。本授業では移民に関する基本文献の講読を通して、国家を超える／国境を越える社会現象を読み解く視座、および研究方法を習得する。	藤浪 海	2	春	火	1	研究室	若干名
社会学研究Ⅲ-2 (国際社会学)		藤浪 海	2	秋	火	1	研究室	若干名
社会学研究Ⅳ-1 (メディア)	理論的思考の基礎を習得する。	新井 克弥	2	春	金	1	研究室	若干名
社会学研究Ⅳ-2 (メディア)	メディア論の専門文献を取り上げ、これについて読み込んでいきます。ただし、修士論文作成に当たっての基本的なスキルの学習を合わせて行います。具体的には「論文叩き」と称して、毎回論文一本を精読し、これについて議論していきます。	新井 克弥	2	秋	金	1	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
社会学研究Ⅶ-1 (家族社会学)	<p>多様性の時代における家族を社会学的に分析する</p> <p>家族は私たちにとって身近なものであり、自分が育った家族が最適なモデルであると考えがちである。しかし、社会・経済状況の変化に伴って、その時代や社会にとって最適な家族は変わるものである。特に、多様性が重視されるようになった21世紀には、社会にとって最適とされてきた家族モデルを見直す動きが盛んになっている。この講義では、文献講読を通して、多様性が重視される時代の家族を分析するために必要となる家族社会学の基礎知識の習得をめざす。</p>	井田 瑞江	2	春	月	2	研究室	若干名
社会学研究Ⅶ-2 (家族社会学)	<p>多様性の時代における家族を社会学的に分析する</p> <p>家族は私たちにとって身近なものであり、自分が育った家族が最適なモデルであると考えがちである。しかし、社会・経済状況の変化に伴って、その時代や社会にとって最適な家族は変わるものである。特に、多様性が重視されるようになった21世紀には、社会にとって最適とされてきた家族モデルを見直す動きが盛んになっている。この講義では、社会学研究Ⅶ-1にひきつづき、文献講読を通して、多様性が重視される時代の家族を分析するために必要となる家族社会学の基礎知識の習得をめざす。</p>	井田 瑞江	2	秋	月	2	研究室	若干名
社会福祉学研究Ⅳ-1 (児童家庭福祉)	<p>テーマ:子ども家庭福祉の研究動向 概要:福祉系学会誌に掲載された子ども家庭福祉分野の学術論文を精読することで、子ども家庭福祉研究の一端を理解しつつ、同時に論文の構造や研究のプロセスを読み解いていく授業を展開する。</p>	澁谷 昌史	2	春	木	3	研究室	若干名
社会福祉学研究Ⅳ-2 (児童家庭福祉)	<p>テーマ:子ども虐待防止の研究動向 概要:2025年度は、とくに英国において重大な虐待事例がどのように研究者の間で扱われたのか、それがどのように子ども虐待防止対策の発展とつながったのかを基本文献(英語文献)の精読により理解する。</p>	澁谷 昌史	2	秋	木	3	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
社会福祉学研究Ⅴ-1 (公的扶助)	公的扶助の概念・歴史・機能・現状を理解する。 専門書の精読を通して、日本の生活保護の原理と基準の現状を詳しく理解し、これからのあるべき方向性を考える。	西村 貴直	2	春	木	6	研究室	若干名
社会福祉学研究Ⅴ-2 (公的扶助)	公的扶助(対貧困政策)の国際比較 各国の公的扶助制度の特徴と多様性を理解する。 先進国と開発途上国の公的扶助の違いを理解する。	西村 貴直	2	秋	木	6	研究室	若干名
産業・組織心理学研究Ⅰ	作業システム内の重要なひとつの構成要素として「人間」をとらえ、どういった人間特性が業務を円滑に進めたり、産業事故と関わったりするかについて、理解を深める。そして、個人のみならず組織としてのマネジメントについても考えることにする。	細田 聡	2	春	月	2	研究室	若干名
産業・組織心理学研究2	産業事故に対して、これまで人類はどのような対策を考えてきたのか。産業構造の高度化や複雑化の変化に応じて事故の様相も変化している。事故対策もこの変化に対応することが求められる。過去から現在にわたってどのような事故があり、これを教訓として再発防止策が取られたかを理解する。また、事故の背景には何があったのか、事故の表層のみならず深層についても考えることにする。さらには、安全対策をとったつもりが別の異なる事故を誘発することもある。こういった視点を持ちながら将来に向けての未然防止の方向性も議論する。	細田 聡	2	秋	月	2	研究室	若干名
社会学演習Ⅵ-1 (環境社会学)	環境問題は現代社会における主要課題の1つである。環境社会学における基礎文献を講読することで、この問題に対する理解を社会・経済との関わりという視点から深める。合わせて、社会学理論および社会学方法論に関する文献を講読することで、社会学および社会学的な研究方法に対する理解を深める。また、留学生の出身国を中心に、海外の環境問題についての論文も取り上げる。	湯浅 陽一	2	春	月	4	研究室	若干名
社会学演習Ⅵ-2 (環境社会学)	環境問題は現代社会における主要な問題の1つである。環境問題の現状に対する理解を深めつつ、この問題に対する社会学の視点からのアプローチ方法を学ぶ。合わせて、質的研究法についても学修する。	湯浅 陽一	2	秋	月	4	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
社会福祉学演習Ⅱ-1 (障害学)	この演習では、近代社会における「能力主義」に焦点を当てる。人間の「有能さ／無能さ」を測る尺度はどのように開発されてきたのか、そしてそこで生み出される差別は、どのように科学的に正当なものとして主張されてきたのか。これらの問題について、優生学の歴史を紐解き、解説していく。さらに、出生前診断や法的な制度における意思能力として姿を変え、現代においても残り続ける問題について考察する。	麦倉 泰子	2	春	木	5	研究室	若干名
社会福祉学演習Ⅱ-2 (障害学)	この科目では、障害者を含むマイノリティに対する社会的抑圧の理論について学ぶ。障害学における社会的抑圧の理論化の基盤となったものとして、アイリス・マリオン・ヤングの議論があげられる。この科目ではヤングの著作の講読を通して、1960年代以降のアメリカで現れた女性やゲイ・レズビアン、黒人やアラブ系、アジア系移民、高齢者、労働者階級、そして障害者の運動のなかで、何が抑圧として非難され、どのような正義が求められてきたのかを考察する。	麦倉 泰子	2	秋	木	5	研究室	若干名
社会福祉学演習Ⅲ-1 (地域福祉)	・「地域福祉」の基盤理論、地域福祉の推進方法としての基盤理論、「地域福祉」における住民の「主体形成」に関する検討(日本、欧米)をテーマとする。 ・授業概要に応じた「地域福祉をめぐる論点」に関し、受講生からの発議を踏まえたディスカッションを行う。	小沼 春日	2	春	木	4	研究室	若干名
社会福祉学演習Ⅲ-2 (地域福祉)	・地域福祉の推進方法である「コミュニティ・ワーク」、「コミュニティソーシャルワーク」、地域福祉実践の対象となる「地域社会(個人、集団、組織等)」の理解、メゾ領域におけるインターベーション方法をテーマとする。 ・授業概要に応じた「地域福祉をめぐる論点」に関し、受講生からの発議を踏まえたディスカッションを行う。	小沼 春日	2	秋	木	4	研究室	若干名
社会学特講Ⅰ-1 (外書講読)	本科目は、英米社会学における進化社会学や生物社会学に関連する文献の講読を目的とします。この分野は、進化論や生命科学の知見が幅広く援用されます。文献の講読をつうじて、進化社会学の基礎知識を習得するとともに、英語文献を読解する能力の養成を目指します。	三原 武司	2	春	月	3	研究室	若干名
社会学特講Ⅰ-2 (外書講読)	本科目は、英米社会学における進化社会学や生物社会学に関連する文献の講読を目的とします。この分野は、進化論や生命科学の知見が幅広く援用されます。文献の講読をつうじて、進化社会学の基礎知識を習得するとともに、英語文献を読解する能力の養成を目指します。	三原 武司	2	秋	月	4	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
社会学特講Ⅴ-1 (市民社会論)	本講義では、市民社会の実態を解明するための理論と実証分析を体系的に把握することを目指す。	上野 淳子	2	春	火	4	研究室	若干名
社会学特講Ⅴ-2 (市民社会論)	市民社会に関する先行研究を読み進め、市民社会を研究するための理論枠組みと研究方法を検討する。また、受講生の関心に沿って各自の研究報告も行う。	上野 淳子	2	秋	火	4	研究室	若干名
社会福祉学特講Ⅰ-1 (ソーシャルワーク)	この講義ではこれまで家庭内に置かれてきたケアの責任を、どのように社会的責任に転換できるか、政治思想、フェミニズム理論、ソーシャルワーク理論を架橋しながら問い直していくものである。ソーシャルワーカーには古くから社会変革が重要な任務としてみなされているが、実践においてそれは具体的には理解されがたく、制度上も家庭負担を前提としたものが大半である。制度の背景にある思想を、政治哲学やフェミニズム理論を理解した上で、現代のソーシャルワークの課題を再考する。	石川 時子	2	春	金	1	研究室	若干名
社会福祉学特講Ⅱ-1 (外書講読)	本授業では、「International Longevity Center」が刊行した A Profile of Older Japanese 2012 をテキストとして使用し、日本の高齢化社会における高齢者の生活状況を総合的に学ぶ。  高齢者の生活実態を多角的に分析し、政策や社会福祉の観点からその課題と対応策について理解を深めることを目的とする。	鄭 熙聖	2	春	木	2	研究室	若干名
社会福祉学特講Ⅱ-2 (外書講読)	Lawrence A. Abramson 著『The End Game』を輪読し、アメリカ社会における高齢者の多様性、社会経済的格差、文化的背景が高齢者の生活に与える影響について考察する。	鄭 熙聖	2	秋	木	1	研究室	若干名
図書館情報学特講	本講義では、国民の最も基本的な人権である知る権利が、日本においてどのように保障されているか、またどのように侵害されているかを、いくつかの事例(とりわけ、図書館と秘密保護法制をめぐる状況について)に基づいて考察する。  テーマ:現代日本における知る権利の保障とその侵害	中村 克明	2	春	火	5	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
公共図書館論	激しく変革する公共図書館の実情をふまえ、その実態を分析すると共に、今後、公共図書館はどうあるべきか、について考察する。  テーマ:変革の時代の公共図書館	中村 克明	2	秋	火	3	研究室	若干名
学校図書館論	近年の社会情勢を理解した上で、学校図書館が社会的背景に沿ってどのように変化してきているのかを理解し、学校図書館の役割について理解をする。	千 錫烈	2	秋	木	1	研究室	若干名
図書館情報メディア論	図書館情報学に関する基本的な事柄について理解する科目である。  図書館情報学の対象は図書館だけにとどまらず、情報メディア、メディア社会、情報利用行動など対象は幅広い。こうしたメディアについての理解と図書館との関係についてテキストを輪読しながら理解と検討を行っていく。	千 錫烈	2	春	木	2	研究室	若干名
教育学特講	現代の教育の諸問題を歴史にさかのぼって考察する。教育という営みは、つねに政治や経済、文化の影響を受けながらも独自の領域を歴史に刻んできた。そこで、本授業においては、近代社会における教育の役割と機能を明らかにしつつ、歴史的な方法によって「教育の現在」を発見する試みを行うことにしたい。そのためにも、教育理念と学校制度の歴史的展開のうえに今日の教育改革を位置づけ、「近代学校」の成立とその展開、その時代の教師たちが作り上げてきた教育実践、そして戦争と教育とのありようなど、受講者と共同で学びを深め、新たな教育を築いていくための糸口を探していく。	久保田 英助	2	春	金	3	研究室	若干名
教育実践学特講	まずは人類史の観点から「人間」の登場から今日に至るまでの長きにわたる歴史を概観し、それをふまえて未来の「人間」の行く末を想像する。その後、「人間」にとって好ましい世界を創造するための思考方法・実践技術について探求する。	久保田 英助	2	秋	火	2	研究室	若干名

## 特記事項

・本学の履修生がいない場合は講義が開講されません。また、授業開講曜日・講時が変更になる場合があります。

**令和7年(2025年)度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定  
大学別 受講可能科目リスト**

関東学院大学

**研究科(専攻):** 文学研究科 博士後期課程 (社会学専攻)

(履修申請受付期間: 2025年 3月 28日 ~ 2025年 4月 4日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
社会学特殊研究Ⅲ-1 (社会心理)	メディア論の基礎文献を取り上げ、これについて読み込んでいきます。ただし、修士論文作成に当たっての基本的なスキルの学習を合わせて行います。	新井 克弥	2	春	木	3	研究室	若干名
社会学特殊研究Ⅲ-2 (社会心理)	メディア論の専門文献を取り上げ、これについて読み込んでいきます。ただし、修士論文作成に当たっての基本的なスキルの学習を合わせて行います。具体的には「論文叩き」と称して、毎回論文一本を精読し、これについて議論していきます。	新井 克弥	2	秋	木	3	研究室	若干名
社会学特殊研究Ⅳ-1 (環境社会学)	テーマは環境問題を中心とする様々な社会問題に対する理論的な分析視点の理解と、関連する先行研究の把握である。国内外の社会学研究において、とくに理論形成の土台となっている基礎理論の理解を目的とした文献の講読を行う。主たる対象として、存立構造論と公共圏論を取り上げる。	湯浅 陽一	2	春	土	2	研究室	若干名
社会学特殊研究Ⅳ-2 (環境社会学)	国内外の環境社会学研究をもとに、理論形成の方法に関する文献の講読を行う。具体的な方法として、質的研究の方法、規範理論などを取り上げる。	湯浅 陽一	2	秋	土	2	研究室	若干名
社会福祉学特殊研究Ⅱ-1 (障害学)	本科目ではイギリスの障害学がどのような議論を経て立ち上がってきたのか、そしてフェミニズムやポストモダニズムとの理論的な対話を経て、どのような展開を遂げてきたのかについて理解する。	麦倉 泰子	2	春	木	6	研究室	若干名
社会福祉学特殊研究Ⅱ-2 (障害学)	エスノグラフィー、フィールドワーク、ライフヒストリー/ライフストーリー法、会話分析、内容分析といった多様な質的調査の方法についての基本的知識を得るとともに、それぞれの方法が提唱されてきた社会調査の歴史的な背景について理解を深める。	麦倉 泰子	2	秋	木	6	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
図書館情報学特殊講義1	日本図書館協会(日本における図書館人の最大の団体)の最も重要な公式文書である「図書館の自由に関する宣言」(「自由宣言」)の作成過程およびその意義・内容について、批判的に検討することを目標とする。	中村 克明	2	春	火	6	研究室	若干名
図書館情報学特殊講義2	「図書館の自由」に関する法体系と意義を諸法令、諸宣言等を解説することによって、明らかにする。	中村 克明	2	秋	火	6	研究室	若干名
図書館情報メディア特殊講義1	イギリスのライブラリアン養成大学院でテキストとして採用されている「図書館情報学概論」(日本語訳)を輪読し、図書館情報学に関する基本的な知識の習得をめざす。輪読後は各トピックスごとに理解を深めることを目的としてディスカッションを行う。ディスカッションを行う際には、テキストで言及される文献(英文)を指定するので、それを読んだ上で臨むこと。	千 錫烈	2	春	金	4	研究室	若干名
図書館情報メディア特殊講義2	図書館における問題行動に関する図書(英文)を輪読して、問題行動に関する対処法や予防策に関する知識を深め、図書館における危機管理について理解することを目的とする。	千 錫烈	2	秋	金	5	研究室	若干名
社会福祉学特殊講義Ⅱ-1 (児童家庭福祉)	子ども家庭福祉学の体系的理解をテーマとする。子ども家庭福祉学の体系的記述を行っている基本文献2冊を精読し、討議を行う中で授業を展開する。	澁谷 昌史	2	春	木	4	研究室	若干名
社会福祉学特殊講義Ⅱ-2 (児童家庭福祉)	北米における子ども家庭福祉の動向理解をテーマとする。"The Child Welfare Challenge"を教科書として、その内容を理解するとともに、日本との比較検討を行う。	澁谷 昌史	2	秋	木	4	研究室	若干名
社会福祉学特殊講義Ⅲ-1 (地域福祉)	・「地域福祉」をめぐる諸概念の理解を目指す。 ・「地域福祉」の「対象」である地域社会に存在する人・集団・機関等の社会資源のみならず、コミュニティ(都市・農村)自体の「主体性」がどのように形成されてきているのか、わが国固有の史の変遷の理解を目指す。 ・授業概要に応じた「地域福祉をめぐる論点」に関してディスカッションを行う。	小沼 春日	2	春	木	5	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
社会福祉学特殊講義Ⅲ-2 (地域福祉)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この授業は、春学期に開校した社会福祉学特殊講義Ⅲ-1の学びの成果を基盤としている。</li> <li>・わが国で展開されている先駆的な地域福祉実践事例の検討を通して、他地域への転移可能性を考察、「地域福祉」のあるべき姿を探究していく。</li> <li>・特に今日的課題である「地域支援場面のアセスメント」、その具現化の方法としての「福祉情報」に焦点を当てて検討を行う。</li> </ul>	小沼 春日	2	秋	木	5	研究室	若干名

## 特記事項

・本学の履修生がない場合は講義が開講されません。また、授業開講曜日・講時が変更になる場合があります。

**令和7年(2025年)度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定  
大学別 受講可能科目リスト**

関東学院大学

**研究科(専攻):** 文学研究科 博士前期課程 (比較日本文化専攻)

(履修申請受付期間: 2025年 3月 28日 ~ 2025年 4月 4日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
比較日本文化研究Ⅰ-1 (思想)	<p>テーマ:ミシェル・フーコー『狂気の歴史』を読む</p> <p>概要:20世紀フランスの思想家であるミシェル・フーコーの『狂気の歴史』(1961年)を読み、そこで描かれる、狂気と理性の関係や、理性が狂気をそのうちに取り込んでいく歴史的な過程について学ぶ。 学生は毎回、フランス語の原典を読み、内容を要約した資料を作成する。</p>	八幡 恵一	2	春	月	5	研究室	若干名
比較日本文化研究Ⅰ-2 (思想)	<p>テーマ:ミシェル・フーコー『狂気の歴史』を読む②</p> <p>概要:20世紀フランスの思想家であるミシェル・フーコーの『狂気の歴史』(1961年)を読み、そこで描かれる、狂気と理性の関係や、理性が狂気をそのうちに取り込んでいく歴史的な過程について学ぶ。 学生は毎回、フランス語の原典を読み、内容を要約した資料を作成する。 比較日本文化研究Ⅰ-1(思想)の続きから学ぶ。</p>	八幡 恵一	2	秋	月	5	研究室	若干名
比較日本文化研究Ⅲ-1 (欧米史)	<p>欧米の歴史研究を深めていくとともに、受講者が修士論文を仕上げていくために、論文に関連する報告も積極的に行ってもらおう。</p>	小滝 陽	2	春	金	6	研究室	若干名
比較日本文化研究Ⅲ-2 (欧米史)	<p>欧米の歴史研究を深めていくとともに、受講者が修士論文を仕上げていくために、論文に関連する報告も積極的に行ってもらおう。</p>	小滝 陽	2	秋	金	6	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
比較日本文化研究Ⅴ-1 (民族誌学)	本授業は、アーヴィン・ゴフマン『日常生活における自己呈示』(1956年、邦訳2023年)を読む。本書は、1950年代に早々と日常生活の相互作用に着眼した先駆的な研究であり、その意義を今なお保ち続けている。とはいえ、時代的な制約から、現在の視点で見れば多くの限界を抱えており、この議論をそのまま現在の諸事例に適用するにはさまざまな手続きが要求されることも事実である。そこで本授業では、本書を通読し、その現在的意義と発展の方向性を批判的に検討する。	相原 健志	2	春	火	1	研究室	若干名
比較日本文化研究Ⅴ-2 (民族誌学)	本授業は、人類学的民族誌であるJoao Biehl & Peter Locke (ed.) Unfinished (2017)を読む。本書は、いわゆる「存在論的転回」と称される近年の人類学の動向に棹さしながら、時間論・生成論を独自の方向へと進めようと試みている。本授業ではこれを読みながら、その動向の理論的背景を検討するとともに、その限界を批判的に検討する。	相原 健志	2	秋	火	1	研究室	若干名
日本文化研究Ⅱ-1 (近世)	○テーマ:江戸文芸のパーспекティブ ○授業の進め方について:江戸時代の文芸作品から、代表的なものを、時代順に読み進めます。散文(小説)・韻文(俳諧)・演劇(浄瑠璃・歌舞伎)など、できるかぎり幅広くとりあげたいと考えています。そのため、授業内容が「広く浅く」になってしまうかもしれません。この点は、はじめにお断りしておきます。	井上 和人	2	春	月	3	研究室	若干名
日本文化研究Ⅱ-2 (近世)	○テーマ:江戸文芸のパーспекティブ ○授業の進め方について:江戸時代の文芸作品から、代表的なものを、時代順に読み進めます。散文(小説)・韻文(俳諧)・演劇(浄瑠璃・歌舞伎)など、できるかぎり幅広くとりあげたいと考えています。そのため、授業内容が「広く浅く」になってしまうかもしれません。この点は、はじめにお断りしておきます。	井上 和人	2	秋	月	3	研究室	若干名
日本語教育学研究Ⅰ-1	課題遂行型の日本語教育に関する専門的な事柄について学ぶ。日本語教育の参照枠やJF日本語教育スタンダードなのに準拠した日本語教育とは何かについて概観し、Can-do能力記述文を学習目標とする授業及びその評価について理解を深める。	楊 廷延	2	春	火	2	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
日本語教育学研究Ⅰ-2	日本語を教えるための教材研究の手法について学ぶ。日本語教材の役割や使い方について理解を深め、実際の教室活動の際に適切な教材選択及び教材作成ができる能力を身に付ける。	楊 廷延	2	秋	火	4	研究室	若干名
日本語教育学研究Ⅱ-1	日本語教育に必要な音韻・音声の専門的な知識を身につけ、誤用/発音上の問題点について理解を深める。また、意味に関する基礎的な知識を基に類義語や多義語の意味分析を行い、教室活動への実践を考える。文字、表記、形態、語彙に関する専門的な事項も扱う。	伊藤 健人	2	春	火	5	研究室	若干名
日本語教育学研究Ⅱ-2	一口に「日本語文法」といってもその範囲は広く、実際のクラス活動では教師の「さじ加減」によって学習者のレベルに合った「日本語文法」を取捨選択しなければならない。特に、初級のクラスで重要なのは、学習者にどこを見せてどこを隠すかである。この授業ではそのような「さじ加減」がうまくできるように、日本語文法の専門的な理解を深める。	伊藤 健人	2	秋	火	5	研究室	若干名
日本周辺文化研究Ⅱ-1 (朝鮮半島)	明治維新以降の日本と朝鮮半島との関係は、徳川幕藩体制時代の「朝鮮通信使」とは異なり、日本が近代化を推し進め、「脱亜入欧」政策による支配と被支配の関係に変質し、35年にわたる朝鮮植民地統治体制が構築されることになる。また日本の敗戦とともに朝鮮は解放されるが、米ソ冷戦体制の中で南北朝鮮の分断は固定化され、日本との歪んだ関係が維持されている。講義では、近代以降の日本の朝鮮政策、植民地政策、解放後の南北分断、南北朝鮮の政治体制、戦後の日韓関係・日朝関係、在日韓国人・朝鮮人問題について検討する。	呉 世蓮	2	春			研究室	若干名
日本周辺文化研究Ⅱ-2 (朝鮮半島)	明治維新以降の日本と朝鮮半島との関係は、徳川幕藩体制時代の「朝鮮通信使」とは異なり、日本が近代化を推し進め、「脱亜入欧」政策による支配と被支配の関係に変質し、35年にわたる朝鮮植民地統治体制が構築されることになる。また日本の敗戦とともに朝鮮は解放されるが、米ソ冷戦体制の中で南北朝鮮の分断は固定化され、日本との歪んだ関係が維持されている。講義では、近代以降の日本の朝鮮政策、植民地政策、解放後の南北分断、南北朝鮮の政治体制、戦後の日韓関係・日朝関係、在日韓国人・朝鮮人問題について検討する。	呉 世蓮	2	秋			研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
日本周辺文化研究Ⅲ-1 (東南アジア)	本科目は東南アジア諸国を対象に、歴史、政治、経済、文化面について多角的に学ぶとともに、日本との関係性の編成について、批判的思考にもとづいて調査し、考察することを目的としている。授業は教員からの話題提供をもとに、対話型で行われる。毎回課題図書が出題され、履修者で分担して輪読していく。授業の後半は、各自で対象国を選定し、調査に基づき発表を行う。	柏崎 梢	2	春			研究室	若干名
日本周辺文化研究Ⅲ-2 (東南アジア)	本科目は日本における外国ルーツの住民との多文化共生社会の在り方を、東南アジア諸国出身の方々に焦点を当て、フィールド調査に基づく課題解決策を見出すことを目的とする。授業の前半では、日本の外国人居住者を取り巻く政策・制度の変遷を学び、国・自治体・地域コミュニティレベルでの取り組みを理解する。そのうえで、横浜市で最も外国人居住者の多い中区を事例対象とし、フィールド調査、データ分析のうえ、課題解決策を発表する。フィールド調査の前には、観察、インタビュー、アンケートなどの基礎的な社会調査法について習得する。	柏崎 梢	2	秋			研究室	若干名
比較日本文化演習Ⅱ-1 (文学)	日本近代文学の作品を読み、その読解を通して日本文化や歴史の実像を探る。	富岡 幸一郎	2	春	火	2	研究室	若干名
比較日本文化演習Ⅱ-2 (文学)	明治以降の日本近代文学の作品と外国文学の影響との比較研究。	富岡 幸一郎	2	秋	火	2	研究室	若干名
比較日本文化演習Ⅳ-1 (宗教)		高井 啓介	2	春			研究室	若干名
比較日本文化演習Ⅳ-2 (宗教)		高井 啓介	2	秋			研究室	若干名
日本文化演習Ⅰ-1 (中世)	日本近代文学の作品を読み、その読解を通して日本文化や歴史の実像を探る。	西尾 知己	2	春	木	5	研究室	若干名
日本文化演習Ⅰ-2 (中世)	明治以降の日本近代文学の作品と外国文学の影響との比較研究。	西尾 知己	2	秋	木	5	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
日本語教育学演習Ⅰ-1	日本語の多義表現を中心に、その解釈に差をもたらす要因を意味的・構造的な観点から考察する。多義表現は、言語学・日本語学の中心的な課題の一つだが、同時に、応用言語学である日本語教育での課題でもある。従って、この授業には言語学・日本語学に興味を持つ学生と日本語教育に興味を持つ学生の参加を期待する。	伊藤 健人	2	春	金	1	研究室	若干名
日本語教育学演習Ⅰ-2	日本語の多義表現を中心に、その解釈に差をもたらす要因を意味的・構造的な観点から考察する。多義表現は、言語学・日本語学の中心的な課題の一つだが、同時に、日本語教育での課題でもある。従って、この授業には言語学・日本語学に興味を持つ学生と日本語教育に興味を持つ学生の参	伊藤 健人	2	秋	金	1	研究室	若干名
日本語教育学演習Ⅱ-1	日本に住む外国人は、ここ30年で約3倍に増加し、出身国・地域も多様化している。外国人住民の上位10の国籍・地域の公用語たげても9言語にのぼり、英語や中国語など多言語での情報提供には限界がある。そのため、「やさしい日本語」の重要性がますます増し、出入国在留管理庁・文化庁による『在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン』が2020年に出された。この授業では、同ガイドラインを参考に「やさしい日本語」作成の基礎的な技能について学び、多文化共生社会での言語コ	楊 廷延	2	春	土	1	研究室	若干名
日本語教育学演習Ⅱ-2	日本語教育に関する専門的な事柄についての知識を得る。はじめに日本語教育の社会的意義や使命、日本語教師の役割などを考え、その後、日本語教育プログラムや様々な外国語教授法の特徴と変遷について学び、後半はコースデザインについて考える。	楊 廷延	2	秋	土	2	研究室	若干名
日本周辺文化演習Ⅰ-1 (近代中国)	魯迅文学における「鬼」 中国四千年の歴史のなかに、「人」になれずにあがき苦しむ「鬼」たちの姿を見出した魯迅文学の背後に、いかなる内面の葛藤があったのか。「孔乙己」「阿Q正伝」「祝福」などに描かれた「鬼」の諸相を手がかりに、魯迅文学の深さを探求する。	鄧 捷	2	春	月	4	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
日本周辺文化演習Ⅰ-2 (近代中国)	<魯迅『野草』の研究> 散文詩集『野草』は「芸術的完成 さで魯迅のあらゆる作品中で第 一位を占める」(竹内好)と賞賛さ れ、魯迅の哲学のすべてを表現し た難解な象徴詩群である。そのた め、中国・日本において様々に解 釈・翻訳されてきた。本授業は、い くつかの翻訳を比較しながら、日 本、中国の代表的な研究を講読 し、日本語翻訳の問題及び日中	鄧 捷	2	秋	月	4	研究室	若干名
比較フランス文化特講Ⅰ	この授業では、フランスの思想家 であるミシェル・フーコーの『狂気 の歴史』の読解を行い、それによ って狂気、社会、文化や文明の 関係について考える。	八幡 恵一	2	春	金	2	研究室	若干名
比較フランス文化特講Ⅱ		八幡 恵一	2	秋	金	2	研究室	若干名
文化人類学特講Ⅰ	本授業は、アーヴィン・ゴフマン 『日常生活における自己呈示』 (1956年、邦訳2023年)を読 む。本書は、1950年代に早々と日 常生活の相互作用に着眼した先 駆的な研究であり、その意義を今 なお保ち続けている。とはいえ、時 代的な制約から、現在の視点で見 れば多くの限界を抱えており、この 議論をそのまま現在の諸事例に 適応するにはさまざまな手続きが 要求されることも事実である。そ こで本授業では、本書を通読し、 その現在の意義と発展の方向性を	相原 健志	2	春	火	1	研究室	若干名
文化人類学特講Ⅱ	本授業は、人類学的民族誌であ る Francisco Martinez (ed.) Potilics of Recuperation (2020)を読み、ヨーロッパ統 合にますます巻き込まれネオリベラ リズム的資本主義に侵食される現 代のポルトガルに視野を向けて、 この小国においていかなる変化が その種々の経済的活動において 生じているかを検討する。	相原 健志	2	秋	火	1	研究室	若干名
日本語学特講Ⅰ(対照言 語学)	て、日本語・英語・中国語・韓国 語・ベトナム語などを対象に、言語 類型論的な知識と分析能力の育 成を行う。主に、膠着語、屈折語、 孤立語といった形態的な類型、及 び、SOV、SVOのような基本語順 から見た統語的な類型と、それら に関わる知識の修得と分析力に 焦点を当てる。終盤では、これらの 知識や技能をもとに、日本語学習 者の誤用の分析やフィードバック の方法についての知見を得ること 目標とする。	伊藤 健人	2	春	火	6	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
日本語学特講Ⅱ（社会言語学）	日本語における言語変種とその要因、及び、社会における言語使用の実態や言語行動を支える社会的・文化的慣習について理解を深める。また、語用論の概念や談話分析・会話分析の手法を比較・検討し、効果的な日本語教育への教育実践方法を考える。	伊藤 健人	2	秋	火	6	研究室	若干名
応用言語学特講Ⅰ	第一言語と第二言語の習得のメカニズムの相違、臨界期仮説、動機付け、誤用の要因、ストラテジーなど言語学習における多様性や普遍性について学ぶ。	楊 廷延	2	春	火	1	研究室	若干名
応用言語学特講Ⅱ	日本語学習者の多様なニーズを検討し、それぞれの目的や目標を踏まえた授業を実施するための日本語教育プログラムについて考える。また、教室活動や教材作成に不可欠な著作権の扱いやICTの効果的な活用方法についての理	楊 廷延	2	秋	火	1	研究室	若干名
国際交流論特講Ⅰ	本科目では、「異文化理解」と「多文化共生社会」について、参考書を活用し、重点的かつ実践的な学習を行う。 前半の「異文化理解」では、文化をめぐるさまざまな定義や解釈、議論を整理した上で、「カテゴリー化」「ステレオタイプ」「偏見」「差別」といった日常との関わりを通じ、社会のなかでそれらがどう操作され問題になっているかの視点を得る。また、「接触仮説」の実践を通して、「偏見」「差別」を減らすための議論を行う。 後半の「多文化共生社会」では、日本を含む世界の多文化共生政策の取り組みを学び、それぞれの課題と可能性について議論を行う。また、神奈川県を中心に、東南アジア系移民の方々が集住する地域を訪れ、多文化共生まちづくりの現場での踏査および聞き取り	柏崎 梢	2	春	金	3	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
国際交流論特講Ⅱ	<p>本科目では、「国際開発・協力」の分野において、特に都市スラムのコミュニティ開発に焦点をあて、参考書を活用のうえ、重点的かつ実践的な学習を行う。</p> <p>前半は都市に関する概念を整理した上で、都市を中心に開発が進められた都市形成史について、近代以降、どのような開発課題とそれに対する取り組みがなされたかを学ぶ。ここでは担当教員が紹介する推薦図書をもとに、ビブリオバトル形式の輪読を中心とする。</p> <p>後半は都市問題のなかでも「コミュニティ」という概念に着目し、アジアの途上国を中心に展開してきたコミュニティ開発である、住民主導型住環境改善活動の変遷と、現代の展開について学び議論を進める。さらに、2006年にノーベル平和賞を受賞したグラミン銀行創生者のムハマド・ユヌス博士が現在展開している「3ゼロクラブ」について紹介し、受講者自らのアクションを考える機会を設ける。</p>	柏崎 梢	2	秋	金	3	研究室	若干名
比較アメリカ文化特講Ⅰ	<p>テーマ：アメリカ文化史（植民地期から19世紀末まで）</p> <p>概要：19世紀末「金ぴか時代」までのアメリカ文化について通史的理解を得るため、英語文献を中心とした購読を行う。また、受講者の修士論文作成に向けて、全面的に協力していく。</p>	小滝 陽	2	春	金	5	研究室	若干名
比較アメリカ文化特講Ⅱ	<p>テーマ：アメリカ文化史（20世紀初頭から現在まで）</p> <p>概要：現代のアメリカ文化について通史的理解を得るため、英語文献を中心とした購読を行う。また、受講者の修士論文作成に向けて、全面的に協力していく。</p>	小滝 陽	2	秋	金	5	研究室	若干名
中国古代文化特講Ⅰ	<p>この授業では中国古代（漢代まで）の冥界観に関する関連書籍・文献を読んでいく。</p> <p>特に蕭登福著『先秦兩漢冥界及神仙思想探原』（台湾・文津出版社有限公司、2001年第二版）をテキストとし、引用される中国古典籍の理解を重視しながら、読み進めて行く。</p>	菅野 恵美	2	春	木	5	研究室	若干名
中国古代文化特講Ⅱ	<p>この授業では中国古代（漢代まで）の冥界観に関する関連書籍・文献を読んでいく。</p> <p>特に蕭登福著『先秦兩漢冥界及神仙思想探原』（台湾・文津出版社有限公司、2001年第二版）をテキストとし、引用される中国古典籍の理解を重視しながら、読み進めて行く。</p>	菅野 恵美	2	秋	木	5	研究室	若干名

## 特記事項

・本学の履修生がいない場合は講義が開講されません。また、授業開講曜日・講時が変更になる場合があります。

**令和7年(2025年)度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定  
大学別 受講可能科目リスト**

関東学院大学

**研究科(専攻):** 文学研究科 博士後期課程 (比較日本文化専攻)

(履修申請受付期間: 2025年 3月 28日 ~ 2025年 4月 4日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
比較日本文化特殊研究Ⅰ-1(比較文化)	【テーマ】日本の近代思想と宗教を考える。 【概要】内村鑑三のキリスト教受容を通して、西洋キリスト教と日本の宗教のあり方を考察する。	富岡 幸一郎	2	春	木	6	研究室	若干名
比較日本文化特殊研究Ⅰ-2(比較文化)	【テーマ】日本のキリスト教思想と宗教多元主義の可能性 【概要】内村鑑三のキリスト教と西洋の近代神学を批判したスイスの神学者カール・バルトの神学とを比較しながら、その現代的意味を探る。	富岡 幸一郎	2	秋	木	6	研究室	若干名
比較日本文化特殊研究Ⅱ-1(文化史)	中近世の文献史料を講読するなかで、史料から歴史を読み解くスキルをアップさせるとともに、中近世社会の様子を読み解く。	西尾 知己	2	春			研究室	若干名
比較日本文化特殊研究Ⅱ-2(文化史)	鶴岡八幡宮の僧侶による衆会(会議)の記録である『鶴岡事書日記』の応永2年8月条から応永4年条までを講読するなかで、史料から歴史を読み解くスキルをアップさせるとともに、中世(とくに室町期)の鎌倉とその周辺の社会の様子を読み解く。	西尾 知己	2	秋			研究室	若干名
比較日本文化特殊研究Ⅲ-1(文学)	○テーマ:手で読む「日本近世文学」 ○概要:耳慣れないテーマ名でしようか。作品(和本)を手にとってみる。版本の文章を翻刻する。注釈をつけながら読む。たいそう「どんくさい」方法で「日本近世文学」に立ち向かおうという授業です。	井上 和人	2	春	火	2	研究室	若干名
比較日本文化特殊研究Ⅲ-2(文学)	○テキスト:教科書は指定しません。プリントを使い、さまざまな文献に接したいと思います。	井上 和人	2	秋	火	2	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
比較日本文化特殊研究VII-1(思想)	<p>テーマ:ミシェル・フーコー『言葉と物』を読む</p> <p>概要:20世紀フランスの思想家であるミシェル・フーコーの『言葉と物』(1966年)を読み、そこで描かれる、ヨーロッパのさまざまな時代を支配する知の形成過程とあり方、人間科学の登場といわゆる「人間の死」について学ぶ。 学生は毎回、フランス語の原典を読み、内容を要約した資料を作成する。</p>	八幡 恵一	2	春	金	1	研究室	若干名
比較日本文化特殊研究VII-2(思想)	<p>テーマ:ミシェル・フーコー『言葉と物』を読む②</p> <p>概要:20世紀フランスの思想家であるミシェル・フーコーの『言葉と物』(1966年)を読み、そこで描かれる、ヨーロッパのさまざまな時代を支配する知の形成過程とあり方、人間科学の登場といわゆる「人間の死」について学ぶ。 学生は毎回、フランス語の原典を読み、内容を要約した資料を作成する。 比較日本文化特殊研究VII-1(思想)の続きから学ぶ。</p>	八幡 恵一	2	秋	金	1	研究室	若干名
比較日本文化特殊研究VIII-1(日本語教育学)	各自の博士論文の研究テーマを中心に、日本語教育の調査・研究方法について考究する。	楊 廷延	2	春	土	6	研究室	若干名
比較日本文化特殊研究VIII-2(日本語教育学)		楊 廷延	2	秋	土	6	研究室	若干名
比較日本文化特殊講義IV-1(日中比較文学)	<p>&lt;周作人と日本&gt;</p> <p>周作人(兄魯迅と並ぶ現代中国の大知識人、知日家)の日本文化論を読むとともに、受講者の研究テーマとも関連づけて、比較討論していくことを内容としている。</p>	鄧 捷	2	春	月	1	研究室	若干名
比較日本文化特殊講義IV-2(日中比較文学)	<p>&lt;周作人と日本&gt;</p> <p>周作人(兄魯迅と並ぶ現代中国の大知識人、知日家)の日本文化談義を読むとともに、受講者の研究テーマとも関連づけて、比較討論していくことを内容としている。</p>	鄧 捷	2	秋	月	1	研究室	若干名
比較日本文化特殊講義V-1(日本語学)	日本語の多義表現について考える。特に、多義的な意味の拡がりやどのような要因によってもたらされるのかを、認知意味論の枠組みを用いて、意味的・構造的な観点から考察する。	伊藤 健人	2	春	土	1	研究室	若干名
比較日本文化特殊講義V-2(日本語学)		伊藤 健人	2	秋	土	1	研究室	若干名

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	期 配 当	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
比較日本文化特殊講義VI-1(キリスト教史)	<p>テーマ:キリスト教史と日本(戦国時代～禁教まで)</p> <p>概要:キリスト教が渡来した戦国時代から、キリスト教が禁教となる江戸時代初期に至るまでの日本のキリスト教史に関連する様々な資料を読むとともに、受講者の研究テーマとも関連づけて、比較を行い、討論をしつつ、研究を深めていく。</p>	高井 啓介	2	春			研究室	若干名
比較日本文化特殊講義VI-2(キリスト教史)	<p>テーマ:キリスト教史と日本(禁教以降～明治時代)</p> <p>概要:禁教以降、キリスト教が潜伏した江戸時代初期から、再来した江戸時代末期を経て、明治時代の公許に至るまでの日本近代のキリスト教史に関連する様々な資料を読むとともに、受講者の研究テーマとも関連づけて、比較を行い、討論をしつつ、研究を深めていく。</p>	高井 啓介	2	秋			研究室	若干名

## 特記事項

・本学の履修生がない場合は講義が開講されません。また、授業開講曜日・講時が変更になる場合があります。